

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	ユネスコ技術援助専門家の派遣		担当部局庁	国際統括官付		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和48年度		担当課室	国際統括官付		国際課国際協力政策室長 浅井 孝司		
会計区分	一般会計		施策名	XIV-2 国際協力の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	ユネスコ活動に関する法律(第3条)		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	ユネスコ事務局に若手の行政官等を派遣し、ユネスコに対し人的貢献を行うとともに、国際的な人材の養成を行う。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	「ユネスコ技術援助専門家派遣事業」として、若手の行政官や研究者等の専門家をアソシエート・エキスパートとしてユネスコ事務局に派遣し、ユネスコ職員の指揮下で教育、科学、文化に関する職務に従事させる。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	49	45	42	39	39	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	49	45	42	39	39	
	執行額		49	45	42			
執行率(%)		100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	国際的な人材の養成は、様々な活動の総合的な成果として現れるものであるため、本事業のみによる成果指標等の設定は困難。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	当該年度を通じた派遣者数		活動実績 (当初見込み)	人	3	2	1	-
					(2)	(2)	(2)	
単位当たり コスト	23百万(円/人)		算出根拠	= 予算執行額(49+45+42百万円) / 派遣者数(3+2+1人) ※平成21~23年度の平均値				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内 訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	ユネスコ事業等拠出金	39百万円	39百万円					
	計	39百万円	39百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	ユネスコでは、広く国民の支持を得ている世界遺産をはじめとして、教育・科学・文化分野における事業を行っており、本事業では、ユネスコ事務局に行政官等を派遣し、ユネスコに対し人的貢献を行い、ユネスコ事業の円滑かつ効果的な実施を図ることを目的としており、優先度が高い事業であるとともに、国が戦略的に推進していく必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	ユネスコ事務局への行政官等の派遣に当たっては、主に派遣経費が比較的低い若手を派遣することにより単位当たりコストの削減に努めるとともに、ユネスコで定める給与規定に基づき、支出を認めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	ユネスコ事務局での勤務は、ユネスコ事業の円滑かつ効果的な実施を図る観点から、有効な手段となっているが、他方で我が国として重点的に推進している分野において、ユネスコの活動がより円滑かつ効果的に実施されるよう派遣者の派遣先及び職務内容を精査する必要がある。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	我が国としてより政策的必要性の高い分野において、ユネスコの活動がより円滑かつ効果的に実施されるよう、本事業による派遣者の派遣先及び職務内容を精査する必要がある。具体的には、日本ユネスコ国内委員会として重点的に推進している持続発展教育(ESD)の推進拠点であるユネスコスクールの担当部局等が考えられる。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点: この事業は、ユネスコ事務局に若手の行政官等を派遣し、ユネスコに対し人的貢献を行うとともに、国際的な人材を養成するものであり、長期継続事業及び事業成果等の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見: 当該事業は、ユネスコ事務局に派遣している行政官等の人件費の拠出等のために必要なものであるが、長期継続事業であることも踏まえ事業成果を検証した上で、事業内容(派遣者の派遣先、職務内容等)を重点化するなどの改善を図るべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	本事業は、ユネスコ事務局に若手の行政官等を派遣し、ユネスコに対し人的貢献を行うとともに、国際的な人材を養成するものであるが、長期継続事業であることも踏まえ、派遣先の戦略的精査を行った。特に、2014年に日本で開催する「持続発展教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」に向け、今後、我が国として更に力を入れていくべき分野であるESDやその推進拠点として位置付けているユネスコスクールの担当部署に派遣先を重点化し、当該部署への日本からの派遣についてユネスコ本部と調整を始めている。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0422	平成23年行政事業レビュー	0025

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

文部科学省
42百万円

〔 ユネスコ技術援助専門家の派遣 〕

【拠出金】

A. ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)

ユネスコ技術援助専門家派遣事業
42百万円

〔 若手の行政官や研究者等の専門家をアソシエート・エキスパートとしてユネスコ事務局に派遣し、ユネスコ職員の指揮下で教育、科学、文化に関する職務に従事させる。 〕

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載する。費
 目と使途の双方で実情が分かる
 ように記載)

A.ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	ユネスコ技術援助専門家の派遣	42			
計		42	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ユネスコ	ユネスコ技術援助専門家の派遣	42	-	-

※拠出金事業であるため、「入札者数」及び「落札率」は記載なし